

1 実践の概要

テーマ	施設内に不審者が侵入した想定での対処法
外部指導者	秋田県警察 秋田中央警察署 生活安全課 係長 田口 祥平 氏
実施日時	令和6年7月8日（月） 午後2時5分から2時55分まで
実施場所	きらら保育園かんとう通り
参加者	教職員 15名

2 実践内容

講演や演習等の様子	1. さすまたの扱い方 2. 身近な物を利用した防衛方法（傘・パイプ椅子・散歩車・掲示物など） 3. 不審者に掴まった場合の護身術 4. 緊急時の職員連携の注意点（不審者対応者・通報者・子どものケア） 
-----------	---

3 参加者の感想

職員	・園内で行っている訓練は、不審者を園内に入れない訓練なので、実際に侵入した後の対応を実演を通して学ぶことができ、緊急時をイメージすることができた。 ・何年かぶりにさすまたを持った。想像以上に相手との距離が近く、凶器等を持っていた場合の恐怖感を感じた。まずは、子どもを守るためには自分を守り、連携をしっかりとして行動しなければならないと感じた。 ・身の周りの物を使って身を守るのは、紙1枚でも効果的な道具となることを知り、このような目線で身の周りの物を見ていくことも大切だと思った。 ・普段の生活で人を疑うことがないので、身の危険を感じる「アレ？」などの感覚は大事だと思った。大事に至らなければいいので、初期段階で適切に動けるように慌てず、対処していきたい。
----	--